

文化学園大学・文化学園大学短期大学部  
教員研究作品展作品集

2020 年度  
第 17 集

文化学園大学・文化学園大学短期大学部  
教員研究作品展作品集

## ごあいさつ

「教員研究作品展」の作品集17集が発刊されることになりました。これは、第35回展（令和2年）の作品を収録したもので、本学の主として専門教育関連教員による出展作品の図録です。日頃の研究成果を収録したものであり、学生への教育的効果をもつとともに、本学の専門領域とその内容を示すものといえましょう。

先生方のこれらの作品は、「新しい美と文化の創造を担う現代人の育成」という本学の教育・研究目標を具現化したものです。さらに、本学に対する様々な関心やニーズにも合致し、その評価を期待されるものでもあります。今回から電子媒体による刊行となりますが、これらの作品をご覧いただき、本学の特色ある専門分野とユニークな教育プログラムをご理解頂ければ幸いです。

最後にこの作品集をまとめられた研究委員会各位のご尽力に敬意を表し、教育・研究活動のさらなる活性化を期待致します。

文化学園大学  
文化学園大学短期大学部  
学長 濱田 勝宏


## Greetings

The 17th annual collection of artworks created by the faculty of Bunka Gakuen University has recently been published, and is going to be reshaped in electronic form from this issue onwards. The collection comprises productions displayed in the 35th annual exhibitions, for the Reiwa 2 academic years. This publication culminates the painstaking efforts of all the artists involved. It is my honor to present this collection showcasing not only the artists' talent in their field of study, but exemplifying the creative influence they have on student achievement.

These works are an embodiment of our overarching academic and innovative pursuit, “the cultivation of contemporary artists who create new beauty and culture.” It is also gratifying to know that our exhibitions not only address the needs and requirements of our university, but in turn serve to elevate its reputation. This collection reflects the educational philosophy around which our distinctive academic programs have developed.

Finally, I would like to express my appreciation to all those who dedicated their time and energy in order to realize this collection. It is my sincere hope that it will further promote our academic research and educational goals.

Katsuhiro Hamada

A handwritten signature in black ink that reads "Katsuhiro Hamada". The signature is written in a cursive style and is positioned to the right of the printed name.

President

Bunka Gakuen University

Bunka Gakuen Junior College

# 目次

第 35 回教員研究作品展  
1

出品目録  
29

**第 35 回**  
**教員研究作品展**

2020年12月14日(月)～12月25日(金)



35-① 〈wedding dress〉

1800 × 600 × 1200mm シルク、レース、パールビーズ／ヘッドドレス：つまみ細工

ドレスはバックスタイルにポイントを置き、ヘッドドレスは和装でも合わせることのできる素材でデザインをした。



35-② 〈ワンピース・ドレス〉

1800 × 900 × 900mm シルク楊柳クレープ、レース/レース接ぎ、リュネビル刺繍

薄物の縫製研究の継続。プリンセスラインや前中心、裾にはレース接ぎによる装飾を行った。リュネビル刺繍をして制作したバッグをコーディネートした。





35-③ 〈ユーティリティードレス〉

1800 × 500 × 500mm デニム、ラメ、オープンファスナー、グログランリボン

副資材を用いた装飾 —ファスナー—フリル部分がファスナーにより取り外し可能なデザイン。



35-④ 〈ツーピース・ドレス〉

1800 × 900 × 900mm ポリエステルサテン

ビスチェのフリルとスカートの裾に円弧を利用したツーピースドレス。



35-⑤ 〈ワンピースドレス、ボレロ〉

1800 × 600 × 600mm ミルク、綿、シルクシフォン／レイヤード技法

シルクシフォンのワンピースドレスとミルクをレイヤード技法で制作したボレロ。



35-⑥ 〈アンサンブル〉

1800 × 900 × 900mm 着物地、ウール、他

マウスシールドを意識した衿のショートコートと、着用しなくなった着物地を活用したパンツのコーディネート。





35-⑦ 〈象虫尽し模様表着—白—〉

1800 × 1800 × 600mm 絹、ビーズ／シルクスクリーンプリント

象虫の宝石のような煌めきを軽い素材を用いて表現した。





35-⑧ 〈花摘み〉

600 × 450 × 100mm 各種デジタルソフト

花や植物をモチーフに立体的表現と平面的表現を取り入れたファッションイラストレーション。





35-⑨ 〈曙光〉

410 × 290mm アクリル絵の具

配色、色の重なりで、時代に期待する空気感を表現。





35-⑩ 〈雪と光〉

841 × 594mm アクリルガッシュ、色鉛筆、パステル/水彩、コラージュ

一見違和感なく構成した複数のモチーフを、見る人の解釈で結び合わせて、個々のストーリーが創作されることを意図した。





35-① 〈landscape〉

727 × 910mm 油彩、キャンバス

自然の営みの中で偶然に生み出された形の表情に彩りを与えたいと考えている。





35-⑫ 〈Flos〉

242 × 410 × 20mm アルキド絵の具、油彩、キャンバス

自然をモチーフに時の移ろいを表現している。

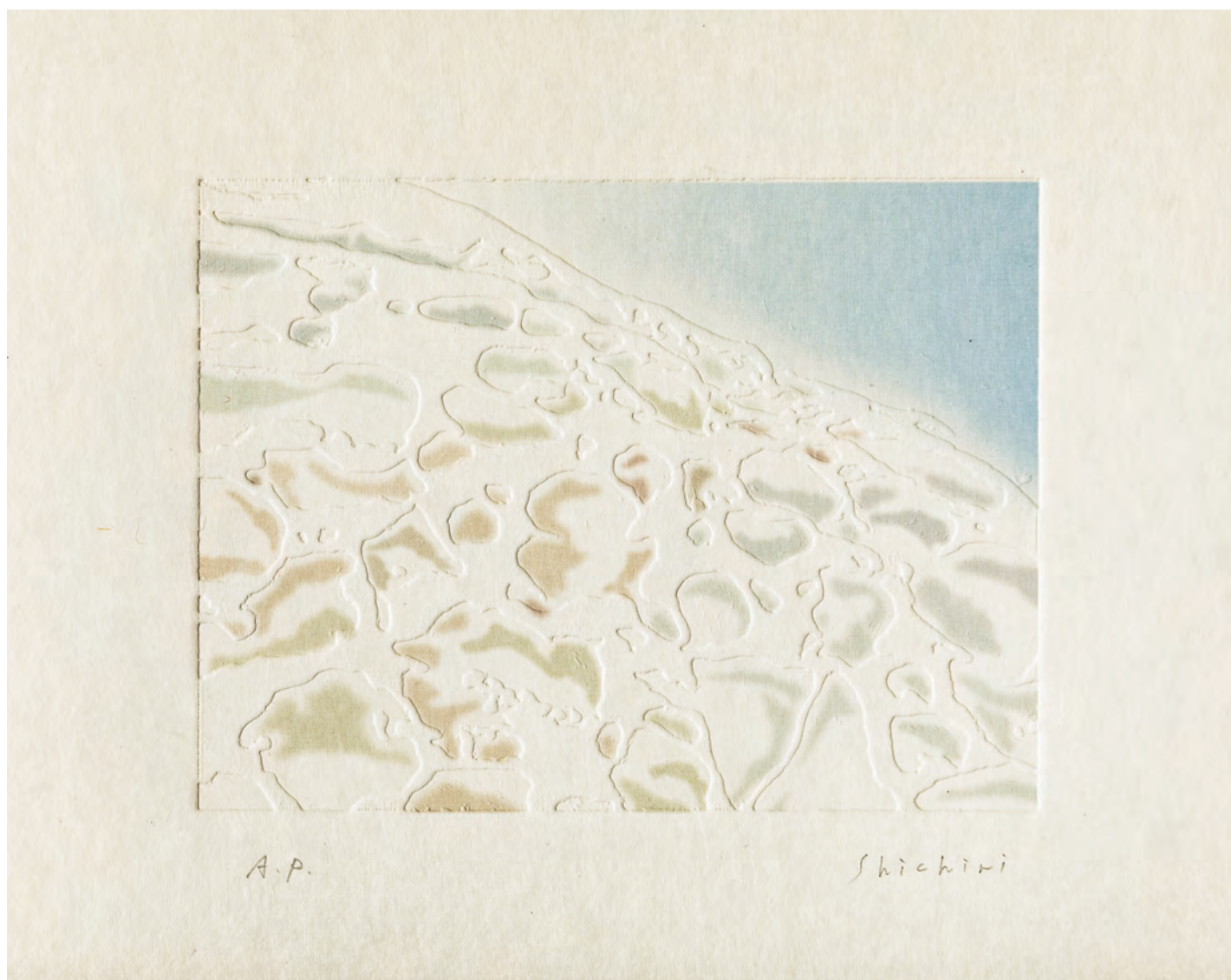




35-⑬ 〈ポンポン娘〉

630 × 500 × 30mm 絹、和紙、木、竹、表装裂、日本画絵具／日本画（応用表装）

和紙と絹を併用し、裏彩色等も用いた日本画表現で、お世話になっている獣医さんのプードルを描き、応用表装仕立てにした作品。



35-⑭ 〈Spectrum 2020〉

290 × 360mm 紙、インク／エンボッシング

「エモーショナルな時間の記憶」をエッチングの技法を用いて表現した作品。

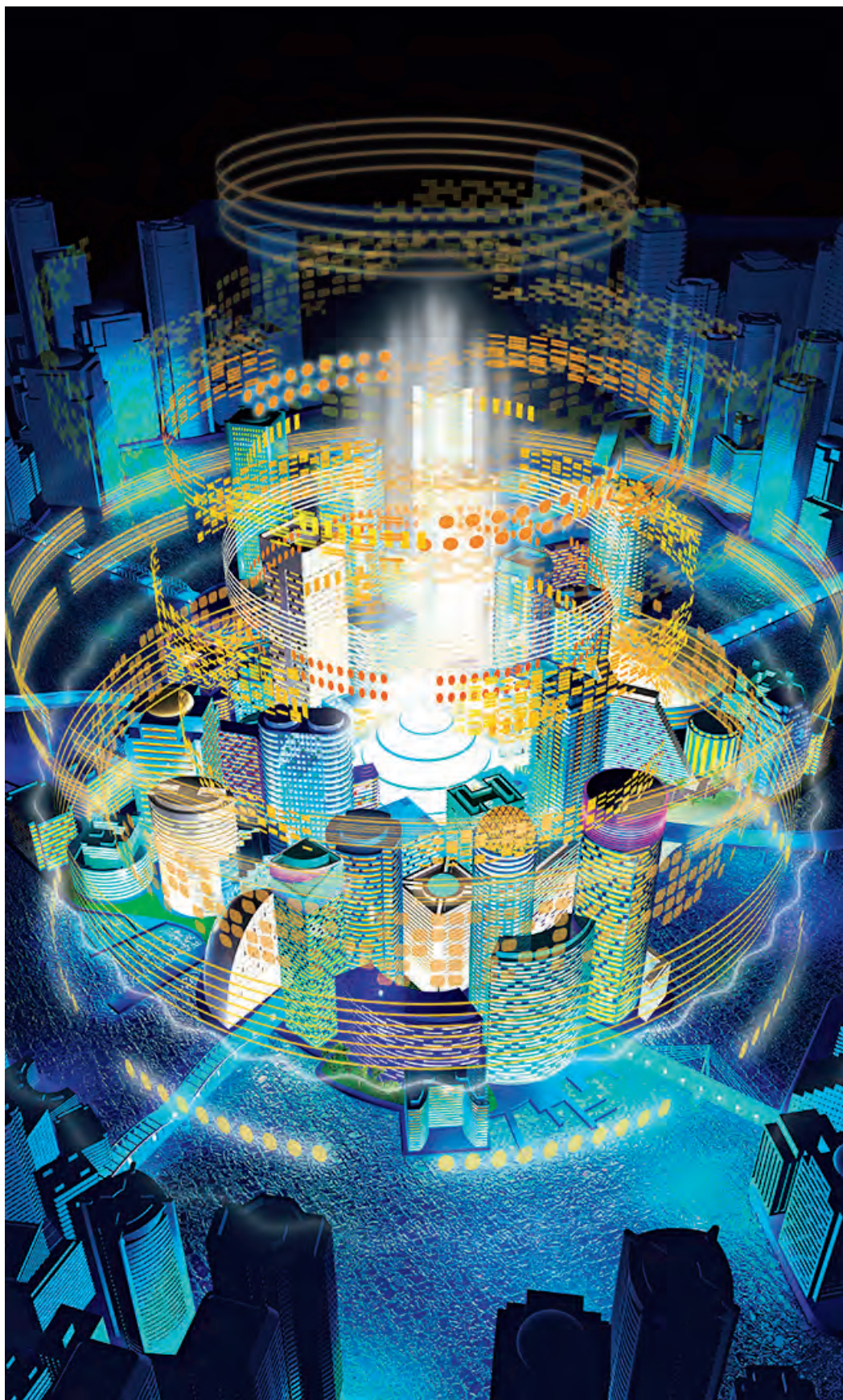




35-⑮ 〈「絵と、」〉

340 × 250 × 8mm 112頁／オフセット印刷

「絵と、」というタイトルの、絵画について考える展覧会のカタログ。



35-⑯ 〈Shining Land 2020〉

297 × 210mm 3DCG で表現したイラストレーション

3DCG の表現の特徴でもある光の効果を取り入れたイラストレーション作品。





35-⑰ 〈ざらり〉

870 × 600 × 60mm 真鍮、麻紐/織

素材の質感や触覚の差をコンセプトにした半立体作品。



35-18 ぎんしゃくどうかくほんもん か き けんうん〈銀赤銅攪拌文花器「卷雲」〉

120 × 240 × 70mm 銀、赤銅、四分一／攪拌文、打ち込み象嵌

流れる雲をイメージし、金属の色彩を光と影として表現した。





35-⑱ 〈Spine 2020-1〉

250 × 250 × 170mm ウール、ポリエステル糸/PC 刺繍ミシンによるオリジナル技法

棘（とげ = spine）で身を守る生物をテーマに、有機的かつ幾何学的な構造物を縫い重ねた色系で表現している。





35-20 〈アンテロープ懂・景Ⅱ〉

2200 × 1400mm 絹／型絵染

米 アリゾナ州のアンテロープ峡谷。風雨が作り上げた自然の造形模様的魅力に魅せられ、自身の心象風景として型絵染で再構築した。



35-② 〈ダブルリング〉

22 × 40 × 7mm 銀

豆をモチーフに、ダブルフィンガーリングをデザインした。彩りには、金箔、色箔を用いた。





35-22 〈有線七宝錦蛇革文肩掛鞆吊飾「面従腹背の革」〉

700 × 300 × 300mm 七宝、銀、銅／有線七宝

みんな建前として組織の方針に従っているが内心はレジスタンスの塊である様をバッグに加工された蛇で表現した。



35-㉓ (2019 #浸食)

70 × 100 × 185mm その他2点 銀/彫金

何かに浸食されていく様子をイメージし、制作した。



35-④ 〈藤〉

1800 × 1800mm 絹／絞り染、型絵染

藤棚で沢山の藤の花がきらきらと咲き誇る様子を2技法用いて重ね染めることで表現した。





35-25 〈Milky Way〉

550 × 310 × 210mm 楠/木彫

過去、現在、未来、という時間の連鎖は「輪廻」というリングの中で未来永劫泳ぎ続ける。



35-26 〈element〉

700 × 1450 × 600mm 樺／木彫

自分の意識を内側に向けた時に溢れてきたもの。それを外側の世界と繋ぎ合わせていく。





# 出品目録

# 令和2年度 第35回教員研究作品展出品作品一覧

部門	作品No.	氏名	〔所属研究室〕	出展題目	大きさ/mm 高さ×幅×奥行 (縦)(横)(厚み)	材料/技法
被服構成	35-①	熊谷 望	〔短大部ファッション学科〕	wedding dress	1800 × 600 × 1200	シルク、レース、パールビーズ /ヘッドドレス：つまみ細工
被服構成	35-②	鹿島 和枝	〔短大部ファッション学科〕	ワンピース・ドレス	1800 × 900 × 900	シルク楊柳クレープ、レース /レース接ぎ、リュネビル刺繍
被服構成	35-③	小出 恵	〔短大部ファッション学科〕	ユーティリティードレス	1800 × 500 × 500	デニム、ラメ、オープンファスナー グログランリボン
被服構成	35-④	佐藤 綾	〔短大部ファッション学科〕	ツーピース・ドレス	1800 × 900 × 900	ポリエステルサテン
被服構成	35-⑤	根本賀奈子	〔国際ファッション〕	ワンピースドレス、ボレロ	1800 × 600 × 600	ミンク、綿、シルクシフォン /レイヤード技法
被服構成	35-⑥	野沢さおり	〔短大部ファッション学科〕	アンサンブル	1800 × 900 × 900	着物地、ウール、他
服飾工芸	35-⑦	角谷 彩子	〔染織〕	象虫尽し模様表着 —白—	1800 × 1800 × 600	絹、ビーズ /シルクスクリーンプリント
ファッション イラスト レーション	35-⑧	森 眸美	〔ファッション画〕	花摘み	600 × 450 × 100	各種デジタルソフト
ファッション イラスト レーション	35-⑨	八浪 美穂	〔ファッション画〕	曙光	410 × 290	アクリル絵の具
ファッション イラスト レーション	35-⑩	横田香野子	〔ファッション画〕	雪と光	841 × 594	アクリルガッシュ、色鉛筆、 パステル/水彩、コラージュ
絵画	35-⑪	白石 一徳	〔教育学・体育学〕	landscape	727 × 910	油彩、キャンバス
絵画	35-⑫	嘉松 聡	〔絵画〕	Flos	242 × 410 × 20	アルキド絵の具、油彩、キャン バス
絵画	35-⑬	柴田 眞美	〔造形・色彩学〕	ボンボン娘	630 × 500 × 30	絹、和紙、木、竹、表装裂、 日本画絵具/日本画（応用表装）
デザイン 分野	35-⑭	七里 真代	〔造形・色彩学〕	Spectrum 2020	290 × 360	紙、インク/エンボッシング
デザイン 分野	35-⑮	山田 拓矢	〔グラフィック・プロダクト〕	「絵と、」	340 × 250 × 8	112頁/オフセット印刷
イラスト レーション	35-⑯	岡部タカノブ	〔メディア・映像〕	Shining Land 2020	297 × 210	3DCGで表現したイラストレー ション
工芸	35-⑰	遠藤 樹	〔染織〕	ざらり	870 × 600 × 60	真鍮、麻紐/織
工芸	35-⑱	押山 元子	〔金工〕	銀赤銅攪拌文花器「巻雲」	120 × 240 × 70	銀、赤銅、四分一 /攪拌文、打ち込み象嵌
工芸	35-⑲	岡本 泰子	〔染織〕	Spine 2020-1	250 × 250 × 170	ウール、ポリエステル糸 /PC刺繍ミシンによるオリジナル技法
工芸	35-⑳	佐藤百合子	〔染織〕	アンテロープ幢・景Ⅱ	2200 × 1400	絹/型絵染
工芸	35-㉑	成井 美穂	〔金工〕	ダブルリング	22 × 40 × 7	銀
工芸	35-㉒	春田 幸彦	〔金工〕	有線七宝錦蛇革文肩掛鞆吊飾 「面従腹背の革」	700 × 300 × 300	七宝、銀、銅/有線七宝

部 門	作品 No.	氏 名	〔所属研究室〕	出 展 題 目	大きさ/mm 高さ×幅×奥行き (縦) (横) (厚み)	材料/技法
工芸	35-⑳	藤澤英恵	〔金工〕	2019 #浸食	70×100×185 その他2点	銀/彫金
工芸	35-㉑	森田和子	〔染織〕	藤	1800×1800	絹/絞り染、型絵染
彫刻	35-㉒	澤田志功	〔基礎造形〕	Milky Way	550×310×210	楠/木彫
彫刻	35-㉓	松村由樹子	〔基礎造形〕	element	700×1450×600	欅/木彫

作品 No. に記されている 35 は作品展の回数を示し、①②③……は本誌への掲載順序を示しています。



## おわりに

文化学園大学・文化学園大学短期大学部教員研究作品展作品集第17集をお届けします。本作品集は、第35回（令和2年）教員研究作品展に出展された作品を収録したものです。ファッション、美術、工芸、デザイン、建築等、本学教員の特色ある研究成果をご覧いただければ幸いです。

時代の潮流に乗り、今回から本作品集も電子媒体での刊行となりました。今後は、デジタル化のメリットを最大限に活かしながら、多くの皆様に楽しんでいただけるような魅力ある作品集づくりに取り組んでまいります。

最後になりましたが、作品をご出展いただきました先生方、本作品集の編集にご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

2021年吉日

文化学園大学・文化学園大学短期大学部研究委員会

## 研究委員会

委員長 高村 是州  
(以下五十音順)  
井口 彰子  
岡林 誠士  
嘉松 聡  
熊谷 望  
砂長谷 由香  
曾根 里子  
中沢 志保  
二茅 みゆき  
藤澤 千晶  
古屋 則子  
三品 和之  
安永 明智

文化学園大学・文化学園大学短期大学部  
教員研究作品展作品集 第17集

発行日 2021年3月1日

発行 文化学園大学・文化学園大学短期大学部  
〒151-8523  
東京都渋谷区代々木3-22-1

写真 三守写真事務所  
suzu photo office

印刷所 株式会社シナノパブリッシングプレス

# 文化学園大学・文化学園大学短期大学部

〒151-8523 東京都渋谷区代々木 3-22-1